

今回、JICAの日系社会次世代育成研修では、私を含めブラジルから9人と、南米の他国から11人の日系人と一緒にJICA横浜に宿泊しながら研修を積みました。連日、日本の文化、歴史、移民のことを学びながら、日本の大学を見学したり、日本人学生たちとの交流、研修生同志のコミュニケーションも深まり、本当に毎日新しい物事を見たり、聞いたり、感じたりと、新鮮で刺激的な26日間でした。

日本滞在中は、スケジュールがぎっしりで、研修内容も大変多岐に渡っていたので、お陰でいろいろな日本を知ることができました。横浜国立大学と東海大学では、今まで見たこともないような機械(マシン)がいっぱいで、学生達が作ったロボット、ドローン、3Dプリンターなど最先端の技術を持つ日本、その一方で茶道、漆、着物、染色など伝統的産業を今でもきちんと守り継がれている国、このギャップがしっかり共存していることに私はすごく魅了されました。

もう一つ驚いた事は、コミュニケーションに関してです。日本の学生達との交流した際、色々な人と話すことができました。研修前までは、日本人は冷たい印象を持っていましたが、実際に話してみるとそのイメージが180度変わりました。研修中出会った学生たちはとてもオープンで、面白く、話しやすかったです。また、学生達だけではなく、この研修で出会った方たちもみんなとても優しく親切にしてくださいました。研修生達は、ほぼ同じ年齢でしたが、出身国によって言葉が違うので最初、話すのが少しぎこちなかったです。でもだんだんお互いの言葉を教えたり教わったり、母国の文化や習慣などを話したり、すぐに仲良くなれました。日本語を通じて他国の文化と触れ合うことができたことも、大変大きな収穫でした。

実は、今回で日本訪問は三回目だったのですが、家族旅行や親戚訪問では絶対に味わえない、日本を見ることができました。浅草、お台場、横浜は初めてでしたし、以前から夢見ていた日本の大学で授業を受けたり、同じ年頃の学生達との交流、そして研修生達と寝食を共にして、素敵な仲間ができたこともすばらしい思い出となりました。また、はじめてきちんと移民の歴史を教わって、自分のルーツをはっきり認識することができて、私が日系人であるという自覚がいつそう強くなった気がします。

短い間でしたが、夢のような時間を過ごす事ができてとても感謝しています。私の五感が絶え間なく刺激され続けた、そんな26日間、貴重な体験でした。

送り出してくださった、ブラジル JICA のスタッフの皆様、受け入れに尽力してくださった JICA 横浜のスタッフや先生方、横浜国立大、東海大の先生方、学生のみなさん、そして、滞在中お世話になった全ての方々に心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

ブラジル国サンパウロ州サンパウロ市

川原 明

